

聖母女短大 ○國嶋 道子 伊東 理恵。

【目的】家政系短期大学における住環境教育の充実が叫ばれて久しい。最近、住居コース、インテリアコースなどの住居関連学科・専攻・コースなどが新設（改組転換）される大学も見受けられる。そこで、本報告は住環境教育の現状を把握し、よりよい住環境形成に資するための方向を探ることを目的としている。

【方法】近畿2府5県にある家政系短期大学の学生便覧、開講科目一覧表などをもとに、各短期大学で開講されている科目名、内容、単位数、必修選択の別、担当教員の常勤・非常勤別、専攻などを調べた。また、市販の短大受験生向ガイドブック、私立短期大学協会などの資料、テキストとして使用される可能性のある住居関連出版物の分析も行った。

【結果】住環境関連開講科目については、栄養士資格取得を掲げている専攻（学科、

コース）では、開講されていないところもあり、開講されていても「住居学」2単位で、選択科目である場合がほとんどである。栄養士取得以外の専攻（学科、コース）では、ほとんどの短大で最低2単位は開講されている。これは、中学校家庭科教員免許取得に必要であるためと考えられる。現在、住居関連の専門コースを設けている短期大学はまだわずかである。担当教員の専門分野により開講科目に特色が見られる。担当者が非常勤講師の場合、特に開講科目間相互の教育内容の連絡を密にする必要がある。その結果、教育効果をより高めることが可能になると考えられる。また、開講科目内容としては、単に住宅内にとどまらず、住まいを含めた地域環境形成にまでその範囲を広げ、よりよい住環境形成活動を個人にとどまらず地域ぐるみで主体的に行おうとする基礎的能力を養う必要がある。